

5 1 枕草子 (宮に初めて参りたるころ)

一 傍線部の語句の読みをひらがな (現代仮名遣い) で記せ。

[2点×3

① 三尺の御几帳の後ろのちうらに候ふに、

[[[

② 高坏たかひに参らせたる

[[[

③ 立膝たちかみ近くてせばし。

[[[

二 傍線部の語句の意味を後から選べ。

[2点×4

① 御手のはつかに見ゆるが、

[[[

ア わずかに。

イ はつきりと。

ウ 常に。

② 暁あけぼのにはとく下りなむといそがるる。

[[[

ア 突然。

イ 早く。

ウ すでに。

③ あへなきまで御前許ごまへごされたるは、

[[[

ア しかたがない。

イ あっけない。

ウ 効果がない。

④ あれにもあらぬ心地こころすれど参るぞ、

[[[

ア 無味乾燥の気持ち。

イ 無為自然の気持ち。

ウ 無我夢中の気持ち。

三 傍線部の助動詞の活用形を a~f から選べ。同じ記号を何度選んでもよい。

[2点×4

- a 未然形 b 連用形 c 終止形

- d 連体形 e 已然形 f 命令形

① 涙も落ちぬべければ、

[[[

② 暁あけぼのにはとく下りなむといそがるる。

[[[

③ 雪降りにけり。

[[[

④ さおぼしめすやうこそあらめ。

[[[

四 傍線部の敬語の種類を a~c から選べ。同じ記号を何

度選んでもよい。

[2点×3

a 尊敬語

b 謙譲語

c 丁寧語

① 三尺の御几帳の後ろのちうらに候ふに、

[[[

② 女官にようくわんども参りて、

[[[

③ ものなど問はせ給ひ、のたまはするに、

[[[

五 『枕草子』の成立時期ともつとも成立時期が近いものを選べ。

[2点×1

ア 更級日記さらしなにかにっき

イ 源氏物語げんじものがたり

ウ 方丈記ほうじょうき

(解答) [計30点]

一 ①みきちよう ②たかつき ③たてじとみ

[2点×3]

二 ①ア ②イ ③イ ④ウ

[2点×4]

三 ①c ②d ③b ④e

[2点×4]

四 ①b ②b ③a

[2点×3]

五 ①イ

[2点×1]